

今日のキーワード

明日から「春節」、7連休(中国)

中国では、旧暦の正月(「春節」)は、工場や役所などが一斉に休業します。その前にボーナスなどを支給する慣例があることから、「春節」の消費が一年で最も盛り上がるようです。今年は、2月18日から24日までが「春節」の休日です。ただ、儉約令の影響もあり、近年は「春節」中の国内消費は鈍化傾向で、代わって、海外への買物ツアーなどが人気と言われています。

ポイント1 「春節」の国内消費は鈍化傾向

儉約令や腐敗撲滅運動から、高級品の販売が近年不振

- 中国商務省が公表する昨年2014年の「春節」消費は、前年比+13.3%の増加と、2011年の+20%近い増加から鈍化傾向となっています。2012年に習近平氏は党総書記に就任し、綱紀粛正・反腐敗運動に力を入れ、公務員などへの高額な贈答を禁止しました。その結果、「春節」の高級品の販売が鈍化傾向とされています。

ポイント2 買物目的の海外旅行が増加 海外製品の質への信頼は高い

- 「春節」の国内消費が盛り上がり欠ける一方で、ライフスタイルの変化や所得の向上から、海外への買物ツアーが増加傾向にあると言われています。入国査証(ビザ)の発給要件を緩和する国の広がりも背景となっています。
- 高所得者層の買物ツアーの増加の背景は、海外製品の質への信頼が高いことにあります。また、海外旅行も複数回となる人も増え、訪問地も代表的な観光名所ではなく、趣味などの個人ニーズに合わせて多様化しているようです。



今後の展開 「春節」後の景気対策として金融政策のほか、産業政策にも期待

■中国人旅行者拡大の経済効果を狙う

増加する中国人旅行者の獲得を積極的に狙う動きが広がりつつあります。中国人の好みに合わせた食事やおもてなしの提供に注力する企業なども増えているようです。2013年の統計では、香港・マカオ・台湾を除き、韓国、タイ、米国、日本が中国人の海外旅行先の上位4カ国であり、これらの国では、強まる中国人の購買力による「春節」効果が期待されています。

■「春節」後の経済対策への期待高まる

「春節」の中国国内の経済効果が期待ほどでは無いと、「春節」後に、景気対策への期待が高まると見られます。機動的な金融政策の他に、サービス業を中心とした経済への構造転換を早める産業政策も期待されます。消費者ニーズに応える国内製品・サービスの質の向上が、長期的な視点での産業競争力のアップ、さらには内需拡大につながると見られます。

ここも
チェック!

2015年02月05日 中国、追加金融緩和を決定
2015年01月21日 「外国人旅行者数」は過去最高(日本)

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。